

パラスポーツを「知ろう！見よう！応援しよう！」開催

令和2年2月17日(月)、TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンターにて東京合同地区会・パラスポーツ支援コミュニティ(JPSSC) (座長：小林賢也 東京海上日動システムズ(株)) 共催、「パラスポーツを『知ろう！見よう！応援しよう！』」が開催された。本イベントは、東京地区で働く会員企業の皆様に「パラスポーツの素晴らしさ」「障がい者アスリートの凄さ」を知ってもらい、パラスポーツの基礎知識やパラアスリートの日常を学ぶことで、社員一人ひとりが社会と向き合い、何ができて、どう行動すべきかを考える機会として実現した。

はじめに、菅野良太 WG 座長 ((株)リンクレア)より講演「JPSSC (JISA パラスポーツ支援コミュニティ) の活動について」があり、「JISA 会員企業社員にパラスポーツが浸透し、多くの会員が、2020 東京大会を会場で観戦することを成功基準として活動している。本講演でパラスポーツに興味を持っていただき、社内にファンが増えるようにリードして頂きたい。」と述べた。



(菅野 WG 座長)

また、「午前中に東京 2020 大会における女子ゴールボール第二次推薦内定選手に [JDMF2017](#)、[JDMF2019](#) でご講演をいただいた、浦田理恵選手 (シーズアスリート所属 / ロンドンパラリンピックゴールボール金メダリスト) が内定しました！」と伝えると、会場が拍手で包まれた。



(伊藤氏)

次に、伊藤数子氏 (NPO 法人 STAND 代表 / 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会) より講演「すべての人が好きなスポーツに関わる社会へ」があった。講演では、パラスポーツや 1964 年東京大会を含めたパラリンピックの歴史が紹介され、「東京大会のレガシーとして『共生社会』を目指したい。そのために、すべての人が好きなスポーツを「する」「みる」「ささえる」社会を実現したい。」と述べた。



(初瀬氏)

最後に、視覚障がい者柔道選手として現在、東京 2020 代表選考中の初瀬勇輔氏 (一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事 / 2008 年北京パラリンピック視覚障がい者柔道 90 キログラム級日本代表)より講演「行動することで自分を変え、世界を変える」があった。初瀬氏は、現在、株式会社ユニバーサルスタイル、株式会社スタイル・エッジ

MEDICAL の 2 社で代表を務めるなど、ビジネスマンとしても活躍している。初瀬氏は、「大学在学、緑内障により視覚障害となり失意の底にあったが、高校時代に打ち込んだ柔道を再開することで、障害と向き合うきっかけとなった。その後、目標であった北京パラリンピック出場も果たせた。東京大会は、数十年後に『パラリンピックをきっかけに日本が共生社会になった』と語り継がれる大会になってくれたらいい。」と述べた。また、広州アジアパラ競技大会・柔道 90 kg級 優勝(2010 年)、インチョンアジアパラ競技大会・柔道 81 kg級 3 位入賞(2014 年)で獲得したメダル*を披露した。



(アジアパラ競技大会メダル*)

本イベントは、後日、広報サイト「[irodoru](#)」にも掲載予定。



(左から菅野 WG 座長、伊藤氏、初瀬氏、千葉正弘委員(インフォテック・サービス(株)))

(溝尾)